

P o i n t

2018/10/10 No. 5
JR東労組青年部
(東日本旅客鉄道労働組合青年部)
発行責任者 福田 潤一

JR総連・JR東労組のたたかいと青年・女性労働者の活動を発信!



各セッションで発言するJR東労組の派遣者

2018年9月25日～29日、モンゴル・ウランバートルで開催された、国際労働者交流センター(ICLS)「モンゴル労働フォーラム 2018」に参加しました。今年のフォーラムは「組織化の未来」をメインテーマに、①格差②運輸産業における自動化③青年・女性労働者の組織化④ICLS活動の強化のセッションに分け討論してきました。「ICLSの強化」では、JR東労組から、18春闘において昨年を超える妥結結果とはならず、大量脱退を生み出してしまったことは「大敗北」であったことや組織拡大に向けた決意が発信されました。また、「青年・女性労働者の組織化」では、18春闘「大敗北」の職場議論とヒロシマ現地学習行動や沖縄平和行進等、平和を希求する取り組みを報告し議論してきました。

オーストラリアをはじめ各国の仲間から「ストライキは最終手段であり、全組合員が決意しないストライキを強行した組織運営は組合員に支持されるわけがない」「JR総連・JR東労組がんばれ!」と厳しい指摘と激励を受けました。韓国やフィリピン、モンゴルの若い仲間たちからも「あきらめず、ともに頑張ろう! 青年部員に魅力のある組織をつくるんだ! JR東労組青年部ファイティング!」と叱咤激励をいただきました。フォーラムには、昨年よりも多くの若い仲間たちが参加し、討論や交流をすることができました。今後も国際連帯の強化に向けて奮闘していきます!

ICLSに集う仲間と連帯し、青年部組織の強化・拡大をめざそう!